

ぷらちなくらぶ会報 46号

付けっ放しのTVから、「信長は光秀の“器量”に賭けていた」と思わせるシーン(真意が伝わって無い…解釈間違ってる?)が流れ、私の中で信長に対する評価が大きく変わりました。

こうしたアプローチが有れば、学校で「社会の時間に理科の質問をするな!」と怒られる事無く「歴史的側面で先生の話ストレートに聞けたかも」と思う一方で、図らずして組織を背負う立場になった事で「自分の感じ方が変わったのか」と思ったり…。

組織に法人格を持たせて10年。其れ迄の社会福祉は「社会的弱者という側面から行政が縦割りで手を差伸べる」施策しか見えませんでした。其々の人達が持つ力、“キラキラ”を宝箱から出してより多くの人の心を輝かせる機会を作る事が自立(律)支援」という思いで「個々の力を生かす福祉を生活者としての視点と感性と発想力で制度作りに」という妄想・構想を法人格の持つ力を活かして具現化し続けています。

(NPO法人ぷらちなくらぶ 平成22年3月作成 足立区東部地域福利需要実態調査報告書

http://www.platina-club.org/2010public_welfare_demand_fact-finding_report.pdf 参照)

先月行なわれた新年会で、法人設立時以来の会員から懐かしい苦労話も心温まる話として飛出します。訪問介護等、国がお膳立てしてくれている制度の型枠に当てはめての事業も、当時ケアマネの無い組織として介護事業を運営するには半端でないエネルギーが必要でした。

そんな中、区の子育て支援課から『ぷらちなくらぶ』の言葉と思いに興味を持って声を掛けて頂いた事は、繁忙の極みに有っても気持ちは高鳴りました。

区とは足掛け三年、委員会に参加し議論し共に企画立案、そして委託事業開始となりましたが、決して取り入る事無く、時として「自分たちの首を絞める事になるかも知れない」と感じながらも「多くの税金を使わせて頂くに相応しい事業となっているか。公正な運営が出来るシステムになっているか」という視点で話し合いをしながら実施、評価、改善のサイクルで遣ってきた『子育てホームサポート事業』は正に区が推進する協働事業を行うNPO法人としての意味を高めていると自負しています。

しかし、今年、子センターから委託業者をガラガラポンするとの事、提案書の提出を求められました。大竹としては「熱い気持ちで事業の意味を問うて来た過程と産みの苦しみ」が有ったので、当然、思いの丈を提案書に盛り込む作業に入って運営の手を挙げたい気持ちでしたが、今の法人規模を考えたら私が事業に直接的に関わる事は悲しいかな現実不可能です。いつまでも「過去の思いを引きずってはいけない」と、担当職員に事業を続ける意思が有るかを問い、答えを任せる事としました。

担当の美保さんも当然、可愛い子ども達の事を考えたら「遣ります」と即答だったと思いますが、事業として運用して行く不安や負担に迷いも有ったでしょう「遣ります」との返事を貰えたのは提出期限の数日前。

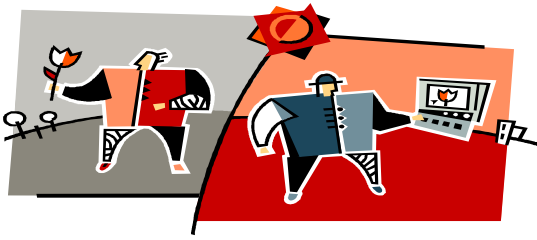
提案書は子育て事業経験の浅い小谷さんが、現場や大竹の言葉から意味を読み取って作成をしてくれて無事、採択され23年度も区の子育て応援隊として事業の受託者となる事が決まりました。

他にも、この場で紹介出来ないのが残念な位に、それぞれの事業は、職員達の持つ知恵と思いと自発的な力によって進化し自立(律)して組織は多角的にキラキラと10年掛けて輝いています。

ぷらちな各種事業の中で平均年齢が一番低い『ぱーく』の保育士ガールズには敵いませんが、地球に移り住んで半世紀、表現は期待する人に上手く伝わらない事が多くても膨らむ妄想は止まりません。

ドド・スコスコスコ ラブ注入☆

大竹恵美子



【お知らせ近況いろいろ 8件】

1. **事務職急募**・・・一般書類作成、会員管理、Web 管理 (Html, blog, twitter 等)、IT 強い方(Excel マクロ, Access レベル)、一部作業は在宅でも可能。一日 3-4h 扶養控除内可能。その他理事長&事務局サポート全般作業。詳細条件等応相談、面談します事務局小谷まで連絡ください。
2. 「**保育室運営ボランティア講座**」・・・3/4(金)25(金)に「保育室運営のボランティア」を目指す講座をぷらちなぱーくの河津リーダが講師を務め開催します。講義+実施研修による講座で無料定員制です。ぜひお申込ください。修了後は生涯学習センターの保育室を中心に、ぷらちな保育室運営スタッフとして様々な場所で活動して頂く予定です。当日の内容はビデオに収録する予定ですので日時が合わない方は事務局までご一報ください。
3. 「**ハートアイランド新田四番街キッズルーム**」・・・12月にオープン後、毎日2-30組の方にサロンを利用頂き、一時預りもリピーターが増えてきました。地域のママさんグループや子育て関連事業所とも連携しイベント開催もかなり活発化してきました。4月からは現在のサロン開所時間(10:00-16:00)の前後を「幼稚園送迎バスを待つ園児の預かりタイム」として拡張します。朝 7:30～、夕 16:00～の 2,3h お手伝い頂ける方を募集しています。「仕事」として意識の高い方、ぜひ応募ください。
4. 「**ぷらちな ぱーく**」・・・キッズルーム、スマイルと合わせて足立区のボランティアポイント対象施設です。最近ではホームサポーターさんがお子さんをお連れしてぱーくに預けるのがトレンドとなりつつあります。三保育士のラブ注入でいろんなアイデアを膨らませつつ、利用者の皆さんと次回のアド街ツク天国を密かにねらっています。そうそう、障害をお持ちのお子さんのご相談もできています。独自運営の強みや特色を出した運営を進めています。
5. 「**スマイルぷらちな**」・・・前回、ぱーくと Web カメラでライブ中継しました。キッズルームイベントで植えた二十日大根の葉っぱのみ無事(?)利用者さんの胃の中へ。気を取り直してベジリンクさんの野菜の直売所&余った野菜を有効活用作戦を計画中です。また、地域の高齢者の方を巻き込みフラダンス教室なんかも準備してます。利用者のお話相手になってあげたい方、お子さん連れの方、ぜひお気軽にお立ち寄りください。
6. **定例会**・・・サポーター定例会は毎月末、こども家庭支援センターにて9時半～、ヘルパー定例会は月初1日、スマイルにて10時半～開催しています。**都合により日時等変わる事がありますので、各事業担当者に事前に確認してください。**皆さんからのご意見や事例紹介、いろんな情報など毎回、勉強になる!!という方が多くいらっしゃいます。ちなみに4/6(水)は10:00～スマイルにて講師の方をお迎えした移乗介助研修を開催します。



編集後記: 最近、子育てのママさんと接する機会が格段に増え、世代のギャップや子育て優遇社会を実感する事も多くなった一方、それに関わるボランティア、サポーターさんの役割や責任を考えさせられる事も増えてきました。報酬を得ることの厳しさ、周囲への気配り、やっている事の意味、若い世代に伝えていくべき事など今一度考えて頂ければと思います。(小谷)



**皆様のご意見、ご感想、ご質問と
投稿お待ちしております!**



| | |
|--------|-------------------------------------|
| 発行所 | 特定非営利活動法人 ぷらちなくらぶ |
| 所在地 | 〒120-0005 足立区綾瀬 6-5-12 アトラポール綾瀬 306 |
| 連絡先 | TEL 5697-9200 FAX 5697-9020 |
| e-mail | info@platina-club.org |
| 発行責任 | 大竹恵美子 |
| 編集責任 | 小谷典史 |